

自主防災組織等のリーダー育成研修プログラム例(案) ～ 防災リーダーの役割/住民(構成員)の自助意識を高めるには ～

【本研修プログラムのねらい】

- 3時間程度の研修を通じて、地域で自主防災活動に取り組む際や、住民の自助の取組を促進するために最低限必要と考えられる知識とスキルを身につけることのできるプログラムです。
- 本プログラムは、地域(地区)において、地域防災リーダーとして自主防災活動を行う上で初期の段階で理解することが望まれる事項と、住民(自主防災組織の構成員)それぞれの防災に対する関心を高め、ひいては地域(地区)全体の住民の生命、身体等を守るために自主防災組織による取組や活動が必要であることを住民(構成員)が認識し合うことを目的として学び理解することが望まれる事項を、「自主防災組織等のリーダー育成のための教育・訓練カリキュラム」の中から抽出したものです。
- 具体的には、「自主防災活動を行う上で前提となる事項」のうち、「地域を理解する」、「自主防災組織を理解する」、「地域の防災リーダーの役割を理解する」の主要な項目と、「災害への事前の備え」のうち、「災害に備える」の主要な項目について学習する構成としています。
- 単元毎の時間は目安として示しています。必要に応じ延長・短縮して実施するなどの活用も考えられます。
- なお、本プログラムは自主防災組織のリーダー向けのものですが、消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの自主防災組織以外の地域防災に関わる団体や組織のリーダー向けの研修においても活用することができます。

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
						詳細	計	
1限目 地域の災害発生のおそれと自主防災活動の必要性	1	地域を理解する<B1>	1	わがまち(地域)の災害発生のおそれ<C3>	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。また、被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	50	60	ハザードマップ等を活用し、地域に生じる被害をイメージ
	2	自主防災組織を理解する<B2>	2	自主防災活動の必要性<C4>	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10		
2限目 地域防災リーダーの役割	1	自主防災組織を理解する<B2>	1	自主防災組織の役割等<C5>	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	10	60	ワークショップを通じて、仲間を増やす方法を学ぶ
	2	地域の防災リーダーの役割を理解する<B3>	2	地域の防災リーダーの役割<C9>	自主防災組織の代表や、代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、リーダーシップとして心掛けたいことについて学ぶ。	5		
			3	仲間を増やす<C10>	多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。	35		
	3	自主防災組織を理解する<B2>	4	地域をとりまく団体等との連携<C6>	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在を理解するとともに、事例をとおして互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。	10		
3限目 自助の重要性と災害への備え	1	災害に備える<B8>	1	わが家の安全対策<C22>	家具の転倒防止、食器類等の落下防止、寝室の安全対策、門柱やブロック塀の点検・補強、ガラスの飛散防止、消火器等の防火対策などの地震に対する安全対策と風水害における事前の安全点検箇所や土嚢等の浸水対策など、わが家の安全性を高める方法について学ぶ。	35	60	消防庁の映像を用いて、わが家の安全対策を学習
			2	事前の備え<C21>	非常用持出品、備蓄品などあらかじめ備えておくべきことなど、家庭であらかじめ備えておくべきことについて学ぶ。	25		チェックリストを用いて、わが家の備蓄状況をチェック

自主防災組織等のリーダー育成研修プログラム例(案) ～ 災害から住民の命を守るには ～

【本研修プログラムのねらい】

- 2時間程度の研修を通じて、災害から住民の命を守るための避難行動を促進するために、最低限必要と考えられる知識とスキルを身につけることのできるプログラムです。
- 本プログラムは、地震や台風・大雨などによる災害が生じた際に、地域(地区)の住民の生命、身体を守るため、適時適切な避難を可能にすることを目的として、学び理解することが望まれる事項を、「自主防災組織等のリーダー育成のための教育・訓練カリキュラム」の中から抽出したものです。
- 具体的には、「災害への事前の備え」のうち、「住民の防災に関する意識、知識を高める」、「わがまち(地域)の防災体制をつくる」の主要な項目と、「災害への対応」のうち、「発災の直前・直後に命を守る」の主要な項目について学習する構成としています。
- 単元毎の時間は目安として示しています。必要に応じ延長・短縮して実施するなどの活用も考えられます。
- なお、本プログラムは自主防災組織のリーダー向けのものですが、消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの自主防災組織以外の地域防災に関わる団体や組織のリーダー向けの研修においても活用することができます。

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
					詳細	計	
1限目 災害発生時の危険性と避難	1	発災の直前・直後に命を守る<B14>	1	災害時にとるべき行動(全般)<C33>	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れを学ぶ。	5	60 どのような状況になったら避難判断をし、どのような対応をするか整理。 ハザードマップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。
			2	避難に関する情報の収集<C34>	気象に関する情報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	30	
			3	安全な避難行動<C35>	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	25	
2限目 被害を最小限とするための取り組みと地域に対する防災知識の普及	1	わがまち(地域)の防災体制をつくる<B11>	1	地域の情報収集・伝達<C27>	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。	15	60 どんな人が要配慮者か、避難時にどんなことに困るか、その対応のポイントを整理。
			2	要配慮者の地域ぐるみでの支援体制<C29>	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)	35	
	2	住民の防災に関する意識、知識を高める<B9>	3	住民の防災意識の向上<C24>	地域の防災意識の向上のための平時からの継続的な取り組みを通じた教育・訓練の方法について学ぶ。	10	

自主防災組織等のリーダー育成研修プログラム例(案) ～ 避難所の運営を円滑に進めるには ～

【本研修プログラムのねらい】

- 2時間程度の研修を通じて、避難所の開設・運営を自主的に行う上で最低限必要と考えられる知識とスキルを身につけることのできるプログラムです。
- 本プログラムは、地域(地区)の住民が避難所に避難した後、避難所の運営が円滑に行われることを目的として、理解することが望まれる事項を、「自主防災組織等のリーダー育成のための教育・訓練カリキュラム」の中から抽出したものです。
- 具体的には、「災害への事前の備え」のうち、「わがまち(地域)の防災体制をつくる」の主要な項目と、「災害への対応」のうち、「発災の直前・直後に命を守る」、「安心・安全に避難生活を送る」の主要な項目について学習する構成としています。
- 単元毎の時間は目安として示しています。必要に応じ延長・短縮して実施するなどの活用も考えられます。
- なお、本プログラムは自主防災組織のリーダー向けのものですが、消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの自主防災組織以外の地域防災に関わる団体や組織のリーダー向けの研修においても活用することができます。

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
						詳細	計	
1限目 避難所開設・ 運営の流れと 発生する課題	1	発災の直前・ 直後に命を 守る<B14>	1	災害時にとるべき行動(全 般)<C33>	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応 の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。	5	60	避難所の運営におい て、どのような状況が 発生するかイメージ し、運営のポイントを 整理。
	2	安心・安全に 避難生活を送る<B15>	2	避難所の開設・運営 <C40>	避難所の開設から運営までの流れや、関係者と連携しながら円滑に避難 所を運営するための方法について学ぶとともに、避難所運営に必要な知 識を学ぶ。	55		
2限目 要配慮者への 支援と災害ボ ランティアの受 入	1	わがまち(地 域)の防災体 制をつくる <B11>	1	要配慮者の地域ぐるみで の支援体制<C29>	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行 動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、避難生活に おける要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づく りの方法、配慮の方法について学ぶ。	50	60	避難生活において、 要配慮者が抱える困 難とその対応のポイ ントを整理。
	2	安心・安全に 避難生活を送る<B15>	2	災害ボランティアの受入、 被災地への応援協力 <C47>	避難所での炊き出しや家屋のがれき撤去など、被災者の生活を支え、復 旧・復興で重要な役割を果たす災害ボランティアの存在や有用性について 学ぶとともに、地域においてあらかじめボランティアを受け入れる力「受援 力」を高めておくための平常時の取組や受入方法について学ぶ。	10		